

万田っ子だより

『目標に向かって挑戦』

第7号 (R8.7.10)

「Trial and error」

文責：校長 右田尚久



のこり1週間で、子供たちが楽しみにしている40日間の夏休みが始まります。

夏休みは、家族との時間を過ごしたり、普段できないことに挑戦したりすることができる貴重な期間です。一方で、交通量の増加や水の事故など、子供たちを取り巻く危険も多くなります。道路の歩き方や自転車の乗り方など交通安全には十分気を付けるとともに、海や川、ため池など子供だけでは行かないこと、帰宅時刻を守るなど、ぜひ、各ご家庭での夏休みの約束について話し合ってくださいと思います。

子供たちが大きな事故やけがなく、元気に過ごし、たくさんの楽しい思い出をつくって、8月末に笑顔で登校してくれることを願っています。充実した夏休みとなりますよう、ご家庭での見守りとご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会



6月17日、本年度第1回学校運営協議会が開催されました。会長の渡邊義専様をはじめ、多くの地域の皆様にご参加いただきました。今回は、児童会代表委員会や各委員会の委員長も出席し、子供たちが学校づくりについて考え、地域の方々と意見を交流する貴重な機会となりました。

まずは、グループに分かれてのランチミーティングを行いました。子供たちは地域の方々と一緒に給食を食べながら、学校生活のことや地域のこと、将来の夢などについて自由に語り合いました。

初めは緊張した様子も見られましたが、会話が弾むにつれて笑顔が増え、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。

その後の協議では、各委員会の委員長から学校生活の中で感じている課題や、よりよい学校にするために取り組みたいことについて発表がありました。どのグループでも、子供たちは堂々と自分たちの考えを発表し、工夫を凝らしたすばらしいプレゼンテーションを行っていました。また、地域の方々からも「こうしたらもっとよくなるのではないか」「地域としてこんな協力ができるのではないか」など、活発な熟議が行われました。子供たちが地域の方々と直接交流し、自分たちの考えを伝えることができた今回の学校運営協議会は、学校と地域が一体となって子供たちの成長を支える大変有意義な機会となりました。

子供たちが自ら学校の課題を見つけ、その解決策を考え、地域の方々とともによりよい学校づくりについて話し合う姿に、大きな成長を感じました。今回いただいた貴重な意見を参考にしながら、各委員会が新たな挑戦を進め、万田小学校をさらによりよい学校へと発展させていくことを期待しています。



授業参観



7月3日（金）に授業参観を実施しました。平日のお忙しい中にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子供たちの学習の様子を見守っていただきましたことに心より感謝申し上げます。また、学校運営協議会の皆様にもご参加いただきました。

今回の授業参観では、全学年で人権教育の授業を公開しました。子供たちは、それぞれの発達段階に応じて「相手の気持ちを考えること」「違いを認め合うこと」「自分も相手も大切にすること」などについて学び、真剣に考えながら授業に取り組んでいました。

ご参観いただいた皆様には、子供たちの姿を通して、人権について考え、学ぶ合う様子をご覧いただけたのではないかと思います。人権感覚は、一朝一夕に身に付くものではありません。学校では日々の教育活動の中で、一人一人を大切に、互いを認め合える心を育てていきたいと考えています。私は、学校教育の土台となるのは人権教育であると考えています。勉強ができて、運動ができて、相手を大切にできる心や自分自身を大切にできる心が育っていなければ、本当の意味で豊かな成長とは言えません。

現在、社会ではインターネット上での心ない言葉やいじめ、差別や偏見など、さまざまな人権に関わる問題が見られます。そのような時代だからこそ、子供たちには「相手の気持ちを考える力」「違いを認め合う力」「困っている人に寄り添う力」を身に付けてほしいと願っています。

～夏休み目前～



今週に入り、昼間で35度という信じられない暑さが続いて、午後からは呼吸をするのも苦しいくらいの毎日でした。このままだと8月はどうなるのかと想像もつかない思いでいます。また、湿度が高く快適な生活には程遠い学校生活の中、のこり一週間で前期前半を終えようとしています。しかし、そのような中でも子供たちは、廊下をすれ違うたびに元気よくあいさつをしてくれて、毎日とても元気をもらっています。

18日からいよいよ夏休みに入ります。休みだから少しはのんびりもいいと思いますが、計画性を持ち、目標をしっかり持って充実した夏休みを過ごしてもらいたいと思います。ゲームができる時間もたくさんあると思いますが、メディアコントロールをするのは、自分自身です。時間を決めておくのも必要です。各家庭で親子で約束をしておくこともお勧めします。

また、最近のニュースで、小中学生の水難事故が多く見られます。遊泳が認められていないところで泳いだり、川の深みに足をすくわれて流されたりと命を落とすケースも多く発生していますので、遊泳禁止のところには絶対入らず、遊泳できるところで遊ぶ際は、保護者と一緒に複数で遊ぶようにしましょう。



一方、6月2日にオープンした「荒尾海陽公園」は、校区内にありますが市内中学生や他県からの中高生等もかなり多く遊びに来ており、いろいろなトラブルも起きているようです。小学生だけでは対応できない事案もあるようですので、もし行かれる際は、保護者も一緒に同行していただきたいと思います。楽しい充実した夏休みを送りましょう。